

令和6年度
学校評価報告書

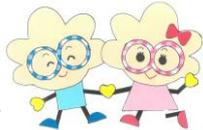
伊予市立下灘小学校

令和6年度	教育計画 伊予市立下灘小学校			学校番号 65
校長名 伊賀上 純	学級数 3	児童数 27	教職員数	男 3 計 6 女 3

<学校の教育目標> **明るく 元気に さわやかに!**



そんな児童を目指します!



校訓 しもなだ

- しっかり考える子
- もくもくとがんばる子
- なかよく明るい子
- だんだんのびる子

楽しんで授業に取り組む子
家庭学習をがんばる子
読書を楽しめる子

命を大切にし、健康で明るい子
進んで運動をする子
あきらめずにやり抜く子

互いに認め合い、助け合う子
思いやりのある子
仲間と協力し合える子

夢や目標をもち、がんばる子
自分の良さに気づく子
正しい言葉づかいのできる子

教育環境の整備・効果的活用

研究・研修の工夫・充実



よく学び よく遊ぶ 笑顔あふれる学校



地域に愛され、地域とともにある学校
学校評価を活用した PDCA サイクルによる学校運営の推進
家庭・地域社会と連携した総がかりの教育を目指す学校風土づくり



理解・協力
情報交換

理解・協力
情報交換

ともにつくる「しもなだ」教育

- コミュニティー・スクールの推進
- 学校ボランティアとの連携
- PTA 活動の充実と地域行事への参加
- 地域・保育所・中学校との連携



家庭
《心やすらぐ場》



地域
《学びが広がる場》

理解・協力
情報交換

重 点 目 標	<p>1 「しっかり考える子」を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題の明確化と対話的な学習の日常化 ○ 読書活動の推進と望ましい言語感覚の習得 ○ 一人一人のニーズに対応したきめ細かな指導の推進 <p>2 「もくもくとがんばる子」を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 望ましい生活・安全習慣を形成する自己管理能力の育成 ○ 外遊びの励行と体力向上への取組の推進 ○ 下灘太鼓の継承・発展 <p>3 「なかよく明るい子」を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自他を大切にする人権・同和教育の推進 ○ 道徳科を核とした道徳教育の充実 ○ 日常的な挨拶の励行 <p>4 「だんだんのびる子」を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己肯定感の育成につながるキャリア教育の充実 ○ ICTを活用した個別最適な学びの実現 ○ 児童理解に基づく教育相談体制の強化 <p>5 地域に愛され地域とともにある下灘教育の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校評価を活用したPDCAサイクルによる学校運営の推進 ○ 家庭・地域社会と連携した総がかりの教育を目指す学校風土づくり ○ コミュニティー・スクールの推進と学校ボランティアとの連携
管 理 運 営	<p>1 人的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども一人一人に向き合う時間の確保に向けた業務改善の推進 ○ 報告・共通理解・確認体制の徹底を図る組織的取組の強化 ○ ワーク・ライフ・バランスの実現とコンプライアンスの徹底 <p>2 物的管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急体制の確立と防災体制の整備・推進 ○ 教育環境の美化・整備と施設・備品等の有効な活用 ○ 安全点検の確実な実施と危険箇所への即時対応 <p>3 事務管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 郡中共同学校事務室を基盤とした組織的な運営 ○ 校務分掌の明確化と迅速で正確な処理 ○ 情報管理体制の確立と個人情報保護の徹底
本 校 教 育 の 特 色	<p>本校は、豊かな自然環境に恵まれ、地域の方々の優しさに支えられた学校である。明治7年の開校以来、地域の特性を生かした教育活動を展開し、今年度150周年を迎える。これらの伝統を継承・発展させるとともに、子供たちが抱える教育的課題に向き合い、一人一人のニーズに対応した教育活動を行っていく。地域との協働活動を推進し、「明るく 元気に さわやかに」の教育目標の下、地域に愛され、学校を核とした地域づくりに貢献できる学校を目指していきたい。</p>

【評価指標について】

(伊予市立下灘小学校)

小項目 (重点目標)	番号	評価指標	目標値
「しっかりと考える子」 をはぐくむ	1	学習道具の準備、話す、聞く等の基本的な学習態度が身に付いているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	2	学習課題を明確にし、対話的な学習を取り入れた授業改善を行うことにより、読解力や表現力が身に付いているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	3	読書習慣が身に付くように、自分でめあてを決めて進んで読書活動に取り組んでいるか。(自分の決めた冊数の達成)	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	4	児童一人一人の実態に配慮した授業実践に努めているか。	教職員、保護者の80%以上が肯定
「もくもくとがんばる子」 をはぐくむ	5	「早寝・早起き・朝ご飯」等の望ましい生活習慣が身に付いているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	6	安全への関心を持ち、進んで安全な生活を送ろうとしているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	7	体育授業や生活の中で進んで体を動かし、学年の発達段階に応じた体力が身に付いているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	8	下灘太鼓の継承・発展に努め、地域を大切に思う気持ちを育成しているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
「なかよく明るい子」 をはぐくむ	9	互いの良さを認め合い、支え合う仲間づくりができているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	10	自ら考え、議論する道徳科の授業の創造に努め、発達段階に応じた道徳的な判断力や心情、態度が育っているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	11	挨拶運動を推進し、誰に対しても気持ちのよい挨拶ができる児童が育っているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
「だんだんのびる子」 をはぐくむ	12	ICTの積極的な活用やキャリア教育の充実など、一人一人を大切に指指導を通して、自己肯定感を醸成することができるか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	13	時と場に応じた適切な言葉遣いができているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	14	児童理解に努め、児童の変化や悩みに迅速に対応し、全教職員が共通理解のもと、指導、支援に当たっているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
管理・運営	15	避難訓練や防犯訓練などを適切に実施して、児童や教師に安全対応能力が身に付いているか。	教職員、児童、保護者の80%以上が肯定
	16	勤務時間・健康管理を意識した働き方の促進に努め、自らの働き方の改善を図っているか。	教職員の80%以上が肯定
	17	一人一人が自分の役割を自覚し、報告・共通理解・確認を密にしながら組織として対応しているか。	教職員の80%以上が肯定
	18	会計事務、情報管理の厳正化や綱紀の保持など、勤務規律の遵守に努めているか。	教職員の80%以上が肯定

【学校運営協議会の委員の皆様からの御意見と学校としての対応】

学校運営協議員様からの御意見	学校としての対応
<p>地域外で見知らぬ人々の集団の中にいると、委縮してしまう子どもたちもいる。自己肯定感を高め、自分に自信を持ち、どのような時と場でも胸を張って自分を誇れる子どもを育ててほしい。</p>	<p>人権・同和教育や道徳科の学習を通して、多様な考えに触れ、自分にしかない良さ、他人にしかない良さを知ること、自己肯定感を高める支援を行ってきました。今後も、自分らしさに気付き、自己肯定感を高める支援を続けていきます。</p> <p>また、複式学級の良さを生かし、児童が交代で学習リーダーを務めることで、児童個々のリーダー性が育ってきています。リーダーとしての資質を育てることで、自分に自信を持ち、自分を誇れる児童を育てることができると考えます。これからも、この学習リーダーの仕組みを生かして、子どもたちのリーダー性を育てていきます。</p>
<p>気持ちの良い挨拶ができています。今後も、このような挨拶ができる子どもを育ててほしい。</p>	<p>学校評価からも進んで挨拶ができる児童が増えてきています。今後も、気持ちの良い挨拶ができる児童を育て、時と場に応じた挨拶ができるように指導を続けていきます。また、相手の気持ちに寄り添った言葉遣いができるように、日常的な言葉遣いについても継続的に指導をしていきます。</p>
<p>下灘地区を誇りに思い、下灘地区のために行動できる子どもを育ててほしい。そのことが、下灘地区の活性化にもつながる。そして、下灘小学校を将来にまで残してほしい。</p>	<p>学校運営協議会も設置され、地域と学校の密接な連携が可能になってきました。学校運営協議会を通じて、学校行事や集会等に地域の方が御参加いただけるように働き掛け、児童が地域の方と共に活動し、地域の一員としての自覚を醸成していきたいと考えます。</p>
<p>多くの人と交流することで多様な価値観に触れることを大切にするとともに、本（漫画も含めて）を読むことでも多様な価値観に触れさせ、創造性の豊かな子どもを育ててほしい。</p>	<p>地域の方だけでなく、いろいろな分野で活躍されている専門性を身に付けた方との交流の場を充実させることで、多様な価値観に触れる機会を増やしていきます。また、本の紹介や読み聞かせ等の読書活動を充実させることで、児童の視野を広げ、新たな知的発見を得る機会を増やしていきます。</p>

【「しっかりと考える子」をはぐくむために】

- 学習ルールが定着し、落ち着いた態度で学習に取り組んでいます。自分の学習態度を振り返り、意欲的に学習に取り組もうとする態度が育ってきました。
- 繰り返し学習や発表・振り返りの機会を増やしたことで、学力の定着につながり、児童が自信を持って学習に取り組めるようになりました。今後も、自分の考えを主体的に表現する機会を充実させるとともにし、ICT（EILSやeライブラリなどのドリル）を有効的に活用して、さらなる学力の向上につなげていきます。また、一人一人の学習状況を分析し、個に応じた「分かる授業」を推進していきます。
- 音読指導を続け、長文を読む習慣が身に付いてきました。また、図書委員会が「読書ビンゴ」をしたり、本の紹介をしたりするなどして、様々な本に親しむ機会を増やしてきました。今後も、児童に読書の楽しさを伝えることで、進んで読書に親しむ態度を育てていきます。

【「もくもくとがんばる子」をはぐくむために】

- 朝食を取って登校するなど望ましい生活習慣が身に付いている家庭が多いです。一方で、習い事やゲーム・スマホ等で寝る時間が遅くなっている児童もいます。今後も、規則正しい生活が送れるように生活習慣についてアドバイスを継続していきます。
- ITスタジアムや外遊び（サッカーや縄跳びなど）に積極的に取り組み、学年に応じた体力が身に付いてきました。また、地域の方の登下校時の見守りや避難訓練等で、交通事故や自然災害から、自分で命を守るという意識が定着してきました。
- 下灘太鼓の練習にOBや漁業後継者の会の方に参加していただき、先輩からの伝統を引き継ぐということを意識して取り組んでいます。下灘太鼓を通して、地域の方と触れ合い、地域を大切にしようとする思いを育てるとともに、地域の一員であるという自覚を高めていけるようにしていきます。

【「なかよく明るい子」をはぐくむために】

- 人権参観日には、高橋 真実子 氏による全校参観授業「鏡の中のぼく」の学習を行い、自分や他者の良さを知り、互いを大切にする児童の育成に務め、よりよい人間関係の在り方について学習をしました。

- 道徳科では、2学年で学習することで、多様な考えに触れ、自他の思いを大切にする児童が育ってきました。他校や地域との交流を取り入れることで、新たな人間関係を生み、思いやりや優しさのある言動も見られるようになりました。
- 学習リーダーが育ってきて、自分たちで自律して行動しようとする態度がよく見られるようになりました。今後も、この態度が育っていくように学年に応じた支援を続けていきます。
- 地域の方や来校者に進んで気持ちの良い挨拶をする児童が増えました。今後も、進んで気持ちの良い挨拶ができる児童を育て、時と場に応じた挨拶を意識できるように指導を続けていきます。

【「だんだんのびる子」をはぐくむために】

- 学校行事、集会等での地域の方との触れ合いの場を充実させていく中で、地域の一人として役に立ちたいという感情が育ちつつあります。
- 言葉遣いについては、相手の気持ちに寄り添った、優しい言葉遣いができるよう指導を継続してきました。時と場に応じた適切な言葉遣いができるようになってきました。今後も、日常的な言葉遣いについて継続的に指導をしていきます。
- 小規模校の特質を生かし、児童一人一人に対応した個別相談の時間を確保し、個に応じた指導や支援を行っていきます。

【管理・運営の徹底を図るために】

- 防災について、実際に災害が発生したときに起こりうる混乱を想定した避難訓練を実施しました。今年度は原子力災害の発生を想定し、地域と一緒に避難訓練を行いました。今後も地域と一緒に防災に取り組んでいきます。
- 教職員の勤務について、長時間勤務の解消が見られます。今後も、教職員一人一人が意識して、自らの働き方をマネジメントしていくことを呼び掛けていきます。
- 報告・連絡について、互いの意識のずれ違いや勘違い等が見られました。教職員に連絡・報告が行き届いていないこともあったため、今後は職朝や職員会の場を活用して、連絡・報告が遺漏なく行えるように努めていきます。

